

文化・芸術

「初雪」

1940(昭和15)年ごろ、絹本彩色
52.7cm×61.7cm

上村松園 (1875~1949年)

明けましておめでとうございます。今年もこのコラムをご愛読いただければ幸いです。今回は、新春にふさわしい作品をご紹介します。京都に生まれ、近代美人画の完成者と呼ばれる上村松園。本作は松園60歳代後半の作品です。女性の上半身を単独で配する構図は、昭和期の画風の特徴でもあります。さえた線、簡潔な造形に、控えめな小物使用と、抑制のきいた色彩が見事な円熟を見せています。

本作では、女性が静かに振り返る目線の先に大胆な余白をもたせています。手を袖の中に引き込んで持つ傘はすでに真っ白で、冷たい外気を思わせます。髪の毛の生え際の美しさ、耳たぶから頬にさしたほんのりとした血色は、艶やかな装いにわずかにのぞく淡い色彩と相まって、りんとした表情の中にぬくもりを感じさせます。

本作は、14日から常設展示室で展示します。
(小此木)



名画の扉

大川美術館コレクションから